

# 仙台北部道路(利府しらかし台IC～富谷JCT)開通によって、周辺道路で交通量が減少しています

利府しらかし台IC～富谷JCTの交通量は6,200台/日

- ◆ 仙台北部道路の開通1ヶ月後の交通量は、6,200台/日となっています。
- ◆ 仙台北部道路が開通したことにより、並行する(主)塩釜吉岡線及び国道4号仙台バイパスの交通量が減少しており、仙台北部道路へ交通が転換されました。

<b>大和IC</b>	～富谷JCT	2
36,400		
29,700		
23%		

<b>国道4号</b>	仙台バイパス	3
(仙台市泉区七北田)		
54,000		
55,500		
3%		

<b>泉IC</b>	～仙台宮城IC	2
29,400		
28,200		
4%		

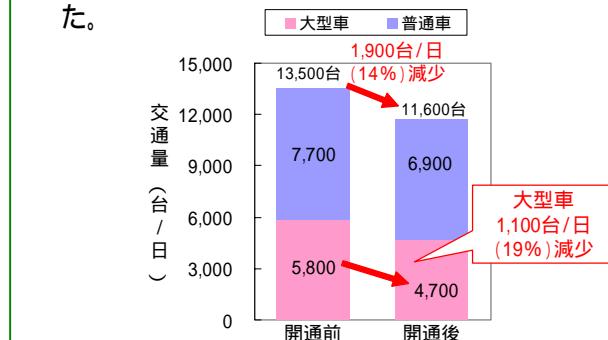
<b>仙台南IC</b>	～山田IC	2
12,000		
12,500		
4%		

出典  
 1: 交通実態調査  
 開通後:H22.4.27(火) 開通前:H22.2.16(火)  
 2: NEXCO東日本交通量データ  
 3: 仙台河川国道事務所交通量データ  
 2, 3はいずれも以下の調査期間とした  
 開通後:H22.4.21(水)～H22.4.27(火)  
 開通前:H22.3.13(土)～H22.3.19(金)



国道4号仙台バイパスなど  
周辺道路で交通量が減少

- ◆ 国道4号仙台バイパス(仙台市泉区七北田)では、仙台北部道路の開通により交通量が1,500台/日(3%)減少しました。
- ◆ 開通前、(主)塩釜吉岡線では大型車が多く通行していましたが、開通後は、仙台北部道路に大型車が転換したため、1,100台/日(19%)減少しました。



出典：交通実態調査  
 開通前:H22.2.16(火) 開通後:H22.4.27(火)

仙台北部道路が様々な物流に  
利用されています

仙台北部道路利用で、コスト削減！

仙台北部道路を利用することにより、輸送時間が短縮し、ドライバーの労働時間が短縮したため、人件費の縮減が可能になりました。

出典：A社（食品運送業）ヒアリング調査

高速道路利用で、定時性が向上！

仙台北部道路開通後は、混雑に巻き込まれることがなくなり、配送時間が読めるようになってとても助かっています。

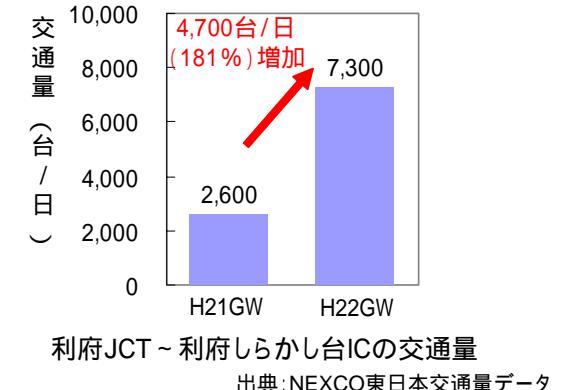
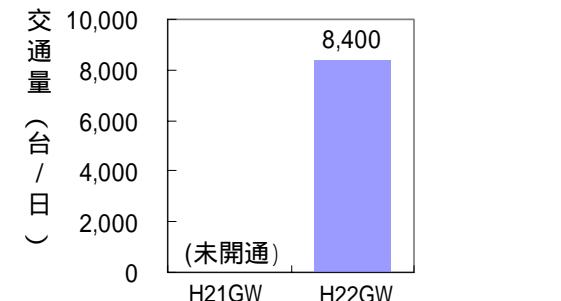
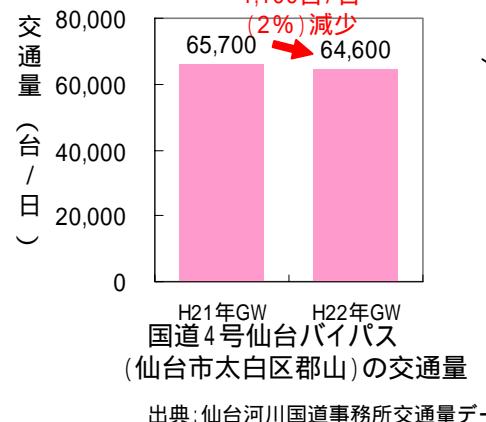
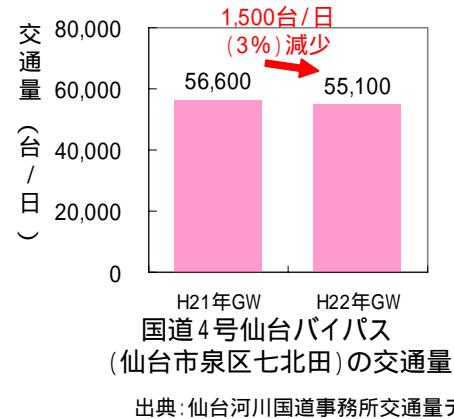
出典：B社（液化ガス運送業）ヒアリング調査

ゴールデンウィーク

# GW期間中も昨年に比べ交通量が増加しました

GW期間中における仙台北部道路の交通量は8,400台/日

- ◆ GW期間中の交通量は、利府しらかし台IC～富谷JCTで8,400台/日です。また、利府JCT～利府しらかし台ICで7,300台/日であり、前年に比べ4,700台/日(181%)増加しています。
- ◆ 一方、国道4号仙台バイパスの交通量は、昨年GWに比べ、仙台市泉区七北田で1,500台(3%)減少、仙台市太白区郡山では1,100台/日(2%)減少しています。



H21 GW: 平成21年4月29日～5月6日  
H22 GW: 平成22年4月28日～5月5日